

⑫ 岩国エリア



500m



千体仏

柱野の地にかつてあった桂雲寺にゆかりある小さな木仏で、795体と多数あることから千体仏と呼ばれています。門徒の法要のとき、亡き人の顔に似た仏像を選んで仏壇にあげ、お経をあげたと言われています。



多賀山神社

疫病が流行った際に、滋賀県の多賀大社より勧請したと伝えられています。創建は不明ですが、明和5年(1768年)以前と推測されています。



石州街道(岩国往来)分岐点

多田とこの地で石州街道(岩国往来)と分岐します。石州街道は、この地で山陽道と分かれ、岩国北部の本郷、錦町の宇佐郷を経て萩あるいは津和野へ向かいます。



大明小路

錦帯橋より伸びる岩国城下町の主要な街路です。石州街道(岩国往来)の一部であり、岩国藩の港、今津と本郷、萩、石見地域を結ぶ経路でもあります。



錦帯橋

三連のアーチ構造を有する木造橋で、全長は約193mです。この木造アーチ構造の美しさが大きな魅力です。(国指定名勝)



岩国城跡

吉川広家が築城した城で、慶長13年(1608年)に完成しました。その後、元和の一國一城令で廃城となります。現在の天守は昭和37年(1962年)に建てられたものです。